

にっこりひろば

令和3年8月25日

第二丁目自治会 広報誌 第43号
自治会長 大月 孝彦

自宅療養となった場合…どうしたら家庭内感染を防げるか?

感染者の増加に伴い、軽症や、重症化リスク因子に該当しない人は、自宅療養になります。市内でも、52歳の自宅療養中の方が亡くなられたと聞いています。発病から僅か一週間の出来事のことです(ご冥福お祈り致します)。コロナ禍の今、もし感染したならば、「家庭内感染をどう防ぐか」が大切なことと思われます。

自宅療養の場合は、一日に1回、体温や咳、鼻汁、倦怠感、息苦しさなどの健康状態について、保健所へ報告して指示を仰ぐことになっています。高熱や強い倦怠感のせいで、動けなくなることも予想されます。一人暮らしの方は、必需品以外にも飲料水やゼリー状の栄養補助食品のようなものをできる限り枕もとに置いて、自分で取れるようにしましょう。分り切ったことではありますが、今一度身の回りを思い起こし、もしものことを考えて動いてみて下さい。コロナ感染予防と対策は、防災対策の観点からしても決して無駄になることはないと思われます。災害時と同様に「命を守る行動を!」が発せられております。

「飛まつ感染」「接触感染」を防ぐ



介護する方は使い捨て防護服
(通販で購入可能)
※代用品 100均・ビニール手袋、マスク・ヘッドキャップ・手袋

除菌
ゴミ袋
使い捨て手袋等は
箱入り購入をお勧め。
感染者の使用後ティッシュ、マスク等は、ポリ袋で密閉して捨てる

枕元に置いて欲しいもの
水や栄養補助食品
チョコレート、ティッシュ、タオル等
マスク、除菌液、体温計、手袋

感染者が療養する部屋と同居者の部屋を可能な限り分る

感染者は特定の部屋から極力出ない。
世話は、持病などがない限られた人が行う。

マスク着用で過ごし、換気・加湿を十分に行う。



役立つ非常用保存食



東大和市内の感染症患者の発生状況

令和3年	8/16(月)	8/22(日)	8/23(月)
入院中	20	23	23
宿泊療養	4	2	3
自宅療養	108	131	125
調整中	13	21	10
総計	140	177	161

平成30年度に第一回の防災訓練を

スタートさせ、それからは、年に一回

実施しております。昨年は、念願の

防災倉庫が設置されました。

炊き出し訓練 安否確認 北多摩西

部消防署による初期消火 AEDの使

い方 案我をした時の応急手当等

を知っていますか?

当自治会に「自主防災組織があるの

で守ること」が一番重要です。次いで自分

の家族の安全を確保した人達の助け

合いが大きな力になります。

防災訓練実施時に

は是非ご参加

下さい。

阪神淡路大震災では約8割の人が

自力で脱出、あるいは家族や近隣の

人によって救出されています。また、

東日本大震災では近所の高齢者の安

否確認や避難誘導など、自主防災組

織が重要な役割を果たしました。次

回の防災訓練実施時には是非ご参

加下さい。

近隣の方とのコミュニケーションをとる

様にしましょう。

合が必要です。日頃から挨拶を行

い町内会の行事に参加(今は行事等

断すること)にしました。「」で承くだ

さい。

今年の自治会防災訓練は、9月4日

に設定しておりましたが、緊急事態

宣言期間中なので後日に延期状況判

定する」とございました。

さい。

今年の自治会防災訓練は、9月4日

に設定しておりましたが、緊急事態